

平成30年6月15日

| 長崎県立大学 | |
|--------|------------------------|
| 担 当 | 企画広報課企画広報グループ 田川、福元 |
| 電 話 | 0956-47-5856 (直通) |
| メー ル | kikaku@sun.ac.jp |

長崎県立大学公開講座（第1部）の開催について（ご案内）

長崎県立大学では、県民の皆様に学習の機会を提供し、地域における生涯教育の振興に貢献することを目的として、6月23日（土）に公開講座を開催します。

今回は、「暮らしに活かす色彩学～色とヒトの不思議な関係～」、「自覚しにくい聴力の衰え～耳のしくみと音の聴こえ方～」と題し、本学教員による講座を行います。

講座は、佐世保校・シーボルト校の両キャンパスをインターネット回線で結んで実施いたします。

詳細については、別紙チラシに掲載しておりますのでご参照ください。

記

【長崎県立大学公開講座（第1部）】

開 催 日：平成30年6月23日（土）

講座内容：13:30～14:30 片山 徹也（情報システム学部情報システム学科 准教授）

「暮らしに活かす色彩学～色とヒトの不思議な関係～」

14:40～15:40 藤沢 望（情報システム学部情報システム学科 講師）

「自覚しにくい聴力の衰え～耳のしくみと音の聴こえ方～」

主 会 場：シーボルト校 中央棟1階 M103 講義室

遠隔会場：佐世保校 新館講義棟1階 504 教室

対 象 者：どなたでも参加できます

受 講 料：無料

申し込み：不要（1講座のみの受講も可能です）

平成30年度 第1部 長崎県立大学 公開講座

5/26 経営学科
【主会場】佐世保校 【遠隔会場】シーボルト校、新上五島町



長崎県の新旧企業の栄枯盛衰から
経営学を学ぶ

講師 三戸 浩 教授



私たちのくらしと改正民法

講師 板垣 太郎 講師

参加無料 / 申込不要

どなたでも参加できます

土曜日開催 13:30~15:40

(1講座60分 前半 13:30~14:30
後半 14:40~15:40)

※この公開講座は、ながさき県民大学の
連携講座となっております。

6/9 国際経営学科
【主会場】佐世保校 【遠隔会場】シーボルト校



ネット社会における「お金」
～金融論の基礎から仮想通貨問題を考える～

講師 石田 和彦 教授



宗教改革から500年 欧州の精神文化を古典から学ぶ
～資本主義の精神とは～

講師 山本 裕 教授

6/23 情報システム学科
【主会場】シーボルト校 【遠隔会場】佐世保校



暮らしに活かす色彩学
～色とヒトの不思議な関係～

講師 片山 徹也 准教授



自覚しにくい聴力の衰え
～耳のしくみと音の聞こえ方～

講師 藤沢 望 講師

7/7 栄養健康学科
【主会場】シーボルト校 【遠隔会場】佐世保校



糖尿病の治療と予防

講師 森田 茂樹 教授



わが国の震災から学ぶ災害後の健康と食事
～被災時の食事を考える～

講師 湯浅 正洋 助教

7/28 国際社会学科
【主会場】シーボルト校 【遠隔会場】佐世保校



習近平の新時代における
中国の現状と展望

講師 祁 建民 教授



人、物、金のつながりから見る
日本と中国の関係

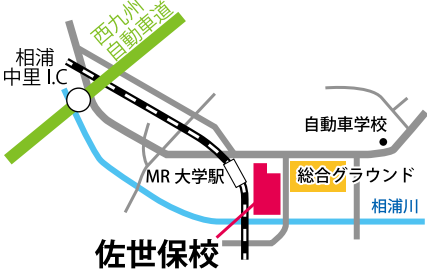
講師 鈴木 暁彦 教授

会場内

**駐車場あり
無料**

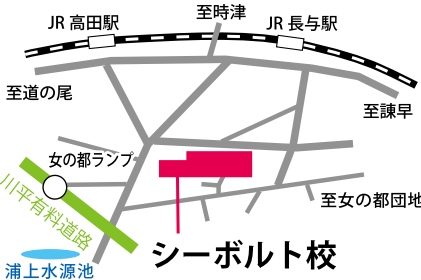
佐世保校

新館講義棟 1階504教室
佐世保市川下町123



シーボルト校

中央棟 1階M103講義室
西彼杵郡長与町まなび野1-1-1



新上五島町

鯨賓館活動支援室
南松浦郡新上五島町有川郷578-36

遠隔会場には主会場からテレビ授業
システムにより映像を配信します。



お問合せ



佐世保校 <企画広報課> TEL 0956-47-5856

シーボルト校 <総務企画課> TEL 095-813-5500

【主催】長崎県立大学

【後援】長崎県教育委員会、佐世保市、長与町、新上五島町

経営学科

5/26

土曜日

【主会場】
佐世保校

【遠隔会場】
シーボルト校
新上五島町



長崎県の新旧企業の 栄枯盛衰から経営学を学ぶ

講師 三戸 浩 教授 時間 13:30~14:30

かつて長崎県を代表する企業としては、長崎市では三菱重工長崎造船所、佐世保市では佐世保重工(SSK)であったが、現在、県民に尋ねてみたら、おそらくジャパネット・タカタとハウステンボスの名前が挙がるのではないのでしょうか？その栄枯盛衰を経営学(ドラッカー理論、戦略論・マーケット論など)の理論で分析し、マネジメントの重要性や面白さを伝えたいと思います。



私たちの暮らしと改正民法

講師 板垣 太郎 講師 時間 14:40~15:40

2020年4月1日、債権関係の規定について約120年ぶりに全面的に改正された民法がよいよ施行されます。本講座では、この改正民法について、とくに私たちの生活に大きな影響を及ぼすと考えられる規定を中心に学びます。

国際経営学科

6/9

土曜日

【主会場】
佐世保校

【遠隔会場】
シーボルト校



ネット社会における「お金」

～金融論の基礎から仮想通貨問題を考える～

講師 石田 和彦 教授 時間 13:30~14:30

ビットコインに代表される「仮想通貨」が大きな社会問題になっています。ニュース等では、仮想通貨の不正取引や相場の乱高下などが大きな話題になりますが、そもそも仮想通貨とは何なのか、従来の「お金」とはどこが違うのか、等を、金融論の基礎を踏まえてわかりやすく解説するとともに、ネット社会における「お金」のあり方を改めて考えてみたいと思います。



宗教改革から500年 欧州の精神文化を古典から学ぶ

～資本主義の精神とは～

講師 山本 裕 教授 時間 14:40~15:40

欧州の歴史を概観して、はじめて資本主義が花開いた精神文化を古典を紐解きながら、わかりやすく解説します。大学で、なぜ、リベラルアーツ(一般教養)が必要とされるかについても考えます。

情報システム 学科

6/23

土曜日

【主会場】
シーボルト校

【遠隔会場】
佐世保校



暮らしに活かす色彩学

～色とヒトの不思議な関係～

講師 片山 徹也 准教授 時間 13:30~14:30

私たちは様々な「色」に囲まれて生活しています。身近な存在である「色」とは何か？錯覚や錯視を引き起こす不思議な画像を体験してもらいながら、光と色、色が現れるしくみ、私たちが色を感じるメカニズムをわかりやすく解説します。そして、色彩が私たちの心身に及ぼす影響を踏まえ、機能性や快適性を高めるための色づかいを紹介します。



自覚しにくい聴力の衰え

～耳のしくみと音の聴こえ方～

講師 藤沢 望 講師 時間 14:40~15:40

最近、音が聴こえにくく感じたことはありますか？年齢を重ねると、身体や眼と同じく耳(聴力)も衰えてきますが、それを自覚している人は多くありません。また最近では、若い人でも大きな音で音楽などを聴くことによって、耳に過大な負担をかけてしまっている場合もあります。一方、日常生活での音の聴こえにくさには、聴き方や環境に問題がある場合もあり、必ずしも聴力の衰えだけが原因ではありません。本講座では、耳のしくみと音の特性を簡単に解説しながら、日常生活での音の聴こえ方や音を聴きやすくするちょっとした工夫などをお話します。

栄養健康学科

7/7

土曜日

【主会場】
シーボルト校

【遠隔会場】
佐世保校



糖尿病の治療と予防

講師 森田 茂樹 教授 時間 13:30~14:30

「高血糖は毒物」。糖尿病は血液中の糖(血糖)が多くなり、尿にあふれ出る病気です。血糖が多くなる理由は、糖を処理する能力が低い体質の人では糖が細胞内に入れずに血液中に溜まるためです。細胞が利用できなかった高血糖は栄養源ではなく、体に害を及ぼす毒物となってしまうため、血糖を下げる治療が必要になります。一方、御自身の体質に見合った生活習慣を身につければ、多くの場合、予防が可能です。



わが国の震災から学ぶ 災害後の健康と食事

～被災時の食事を考える～

講師 湯浅 正洋 助教 時間 14:40~15:40

わが国では、熊本地震(2016年)や東日本大震災(2011年)など、震災をはじめとした災害が多く、たびたび話題になっています。「九州は地震が起こらない」というイメージも否定されており、長崎県においても災害への備えが重要であると考えられます。そこで、わが国の震災を事例として、災害後の健康・食事に関する問題を考えてみます。

国際社会学科

7/28

土曜日

【主会場】
シーボルト校

【遠隔会場】
佐世保校



習近平の新時代における 中国の現状と展望

講師 祁 建民 教授 時間 13:30~14:30

2017年10月に開催された第19回党大会にて「習近平の新時代の中国の特色ある社会主義思想」という言葉が党規約の行動指針に盛り込まれ、習近平総書記2期目の新体制がより強固となりました。習政権は「ややゆとりある社会」の全面達成を目標とする一方、金融などの重大なリスク、貧富格差、環境問題なども抱えています。講師は実地調査に基づきその全貌を解説します。



人、物、金のつながりから見る 日本と中国の関係

講師 鈴木 曉彦 教授 時間 14:40~15:40

新聞やテレビで中国に関するニュースをよく見ますが、そもそも中国はどうなっているのか、よくわからない印象があります。日本の将来にも大きな影響を与えそうな中国をどう考えればいいのか。人、物、金のつながりから中国と日本との関係を見つめ直し、これからの日中関係を考える材料を提供したいと思います。